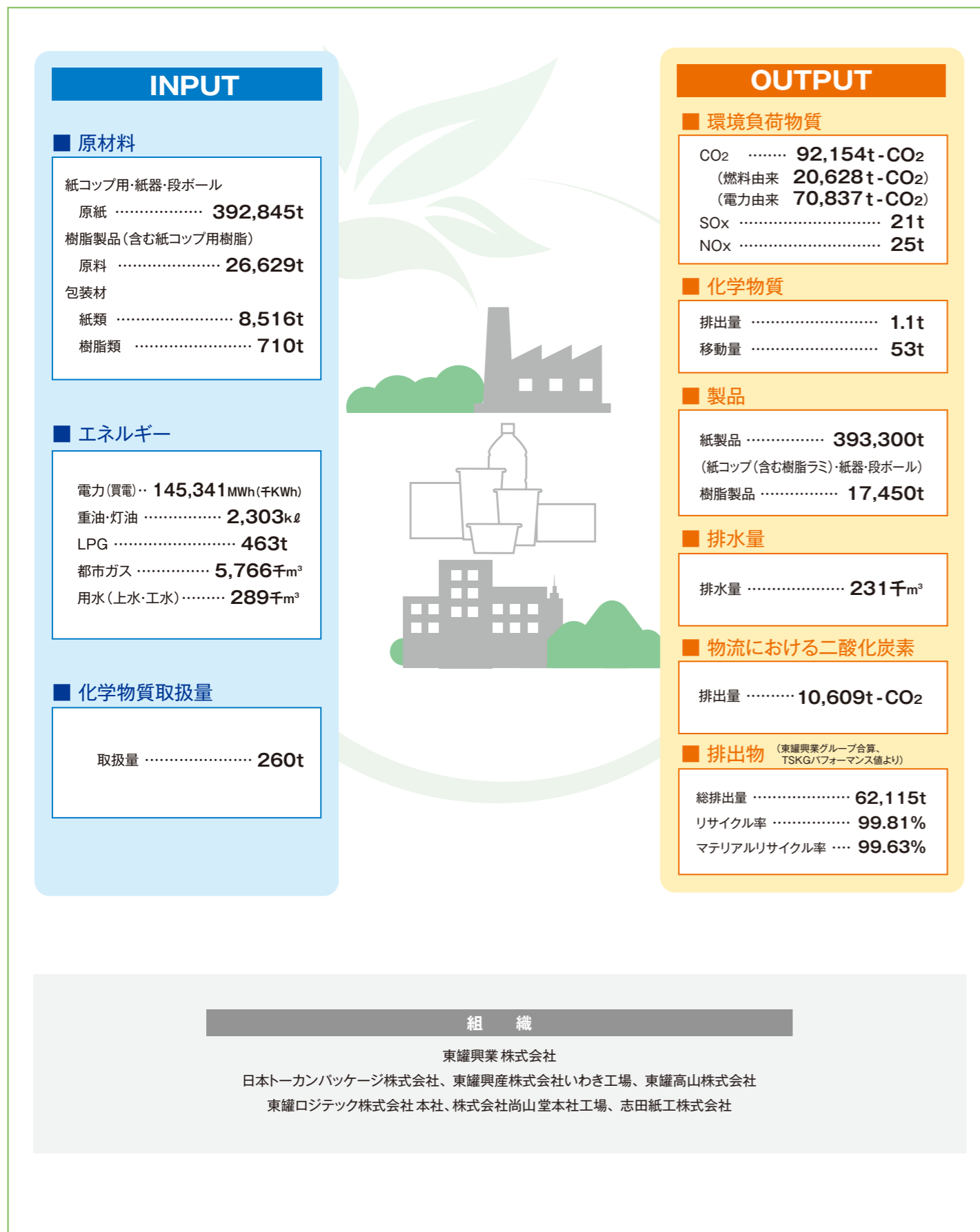


【2018年度 東罐興業グループ 環境パフォーマンスデータ】

東罐興業グループでは全体の物質収支の把握に努め、環境負荷の低減に取り組んでいます。

《環境面からの物質フロー》



《目標と実績》 2018年度環境活動方針に沿って3項目を掲げ活動しています。

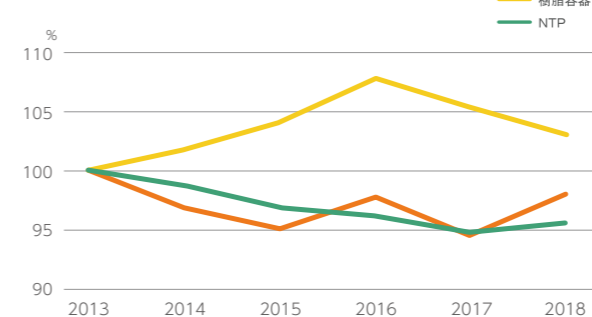
大項目	項目	2018年度 目標	2018年度 実績	評価	
事業活動に伴う環境負荷低減の推進	エネルギー単位の向上	紙容器	0.2820 L/kg	0.2933 L/kg	×
		樹脂容器	0.7602 L/kg	0.7462 L/kg	○
		NTP	26.53 cc/m ³	26.78 cc/m ³	×
	CO ₂ の低減	紙容器	— (無し)	33,468 t-CO ₂	—
		樹脂容器		25,363 t-CO ₂	—
		NTP		32,753 t-CO ₂	—
社外流出事故の事前防止	事例の研究および水平展開により、事前防止を図る	社外流出事故: 0件	苦情・流出: 全2件 ・TKKG (1件) ・NTP (1件)	△	
遵法の精神に基づく各種規制値のチェックと対応	自主基準による定期的な測定と内部監査等による各種規制の遵法状況を確認	各種計測値の確認、環境関連法準拠の確認件数は0件を目標	法令規制値逸脱: 全2件 (契約不備1件、基準逸脱1件) ・TKKG (1件) ・NTP (1件)	△	

評価 ○: 年度目標達成 △: 改善しているが、年度目標未達成 ×: 年度目標未達成、改善していない
 遵法対象: 騒音苦情、燃料の油漏れ、規制値オーバー等も含む

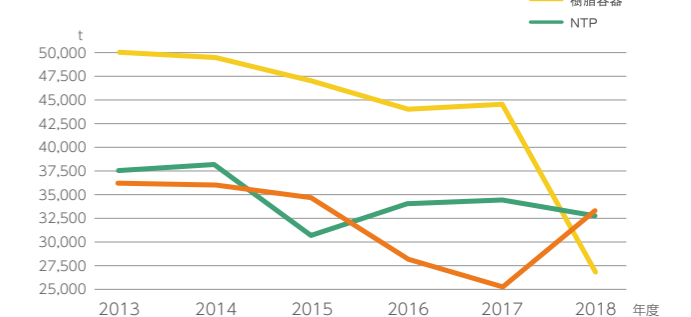
【参考】

排出物削減	有効資源の利用	リサイクル率	—	紙製品 99.84 %	—
		マテリアルリサイクル率	—	樹脂製品 99.59 %	—
				NTP 99.57 %	—
				紙製品 99.49 %	—
				樹脂製品 99.07 %	—
				NTP 99.90 %	—

エネルギー原単位 推移



CO₂排出量 推移



※2018年度より、非飲料用途を中心としたプラスチックボトル事業について、メビウスパッケージング株式会社へ事業統合したことにより、CO₂排出量(樹脂容器)が大きく変動しました。

□ PRTR法対応

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) 法の正式名称は『特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律』といい、「事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境保全上の支障を未然に防止する」ことを目的としています。

「年間取扱量における排出・移動量」

全社の指定化学物質の取扱量・排出量・移動量 (単位:t)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	前年比
取扱量	427.2	387.8	368.0	353.3	349.9	259.7	-90.2
排出量	3.1	2.5	2.5	2.5	1.8	1.1	-0.7
移動量	64.6	70.0	57.5	59.1	51.8	53.0	1.2

※増減要因: 生産量減少に伴い印刷溶剤の取扱量が減少しました。